

## 聖泉短期大学学会研究活動状況 (1998年1月～12月)

次の学会研究会を開催した。

荒木 勉夫 教授「貨幣とはなにか」

中野 英子 教授「人口問題としての高齢化—— 出生率低下の  
現状と課題」

児玉 篤尚 教授「企業会計の目的と構造」

## 聖泉短期大学学会会員研究活動状況 (1997年12月～98年12月)

大久保 昭教 学長

学術講演

「日本における高等教育の諸問題」(於・中国湖南師範大学名誉教授  
就任記念講演, 1998年9月24日)

芝田 進午 教授

共著

『操られる生と死』小学館, 1998年, うち第7章「医学者の倫理と  
責任」(pp. 203-242)

論文

“Toward Prevention of Biohazards,” *Seisen Review*, 1997, No. 5,  
pp. 87-173, Seisen College

「国立感染症研究所長・山崎修道氏にご教示を乞う」『いのちジャー  
ナル』1998年5月, pp. 6-15, さいろ社

「バイオハザード」『生命操作事典』緑風出版, 1998年, pp. 383-392

「予研(感染研)裁判」『生命操作事典』緑風出版, 1998年, pp.  
430-440

## 連載の編集

「感染研の国際査察——『安全神話』か『安全性の科学』か」(2)-  
(10)

『技術と人間』26巻12号, 1997年12月号, pp. 90-95, (株)技術と人間社

『技術と人間』27巻1号, 1998年1-2月号, pp. 100-107

『技術と人間』27巻2号, 1998年3月号, pp. 98-103

『技術と人間』27巻4号, 1998年5月号, pp. 107-111

『技術と人間』27巻5号, 1998年6月号, pp. 79-89

『技術と人間』27巻7号, 1998年8-9月号, pp. 100-111

『技術と人間』27巻8号, 1998年10月号, pp. 89-93

『技術と人間』27巻9号, 1998年11月号, pp. 84-89

『技術と人間』27巻10号, 1998年12月号, pp. 100-111

## 翻訳

第3世界ネットワーク編『バイオテクノロジーの危険管理』1998年,  
(株)技術と人間社, pp. 207. 本庄重男との共訳

## その他 (招待講演)

Invited paper: "Toward a New Philosophy of Human Survival,"  
at the 20th World Congress of Philosophy, Boston, 10-16 August  
1998

## 椋田 幸男 教授

## 論説

「生徒は感じている」『中等教育資料』 文部省中学校課高等学校編  
集, 715号, 7巻13号, 1997年8月号, pp. 2-3

## 中野 英子 教授

## 著書

清水浩昭編著『日本人口論 高齢化と人口問題』(共著), 放送大学  
教育振興会, 1998年

第5章 結婚と出生——晩婚化・少産化の動向と高齢化問題 pp. 54-

65

第9章 労働力——労働力の中・高年化と高齢化問題 pp. 110-119

第10章 結婚と出生行動の変化と地域の高齢化問題 pp. 120-133

第14章 労働力構造の変化と地域の高齢化問題 pp. 176-186

**論文**

「少子化」『生活学事典』日本生活学会編・TBSブリタニカ、(受理  
済み, 1999年3月近刊)

**学会報告**

「人口問題としての高齢化——出生率低下の現状と課題」, 聖泉短  
期大学学会, 1998年

**論説**

「『長寿』に苦悩する社会」『信濃毎日新聞』1998年7月12日

**山下 慶親 教授****翻訳**

世界教会協議会『世界教会協議会の共通理解とヴィジョンに向けて』  
日本キリスト教協議会, 1998年

**書評**

栗林輝夫著『日本民話の神学』,『アレテイア』20号, 1998年3月,  
日本基督教団出版局

**藤本 ますみ 助教授****論文**

「学際的共同研究と知的生産」『聖泉論叢』5号, 1997, pp. 19-46,  
聖泉短期大学学会

**濱田 佐保子 助教授****論文**

“Creatures and Emily Dickinson’s Poetics,” 『聖泉論叢』5号,  
1997, pp. 175-197, 聖泉短期大学学会

## 共編著

*Words to the World*, 1998, pp. 7-18, 91-101, 松柏社

## 共著

『新・アメリカ研究入門』1998年, pp. 189-202, 成美堂

*An Emily Dickinson Encyclopedia*, 1998, Greenwood Press, pp. 55-56, p. 108, pp. 123-124.

## 岡 良和 助教授

## 論文

"The Journey, Building and Container Metaphors in the Schema Theory," 『聖泉論叢』5号, 1997, pp. 199-221, 聖泉短期大学学会

## 水野 邦夫 講師

## 論文

「コンピュータ不安の低減及びコンピュータ利用意欲の向上に関わる諸要因の考察ーパソコンの所有・高校時代の情報教育経験を中心に」『聖泉論叢』5号, 1997, pp. 47-62, 聖泉短期大学学会 (ただし共著)

「対人関係における外向性の直接的効果について」『聖泉論叢』5号, 1997, pp. 63-76, 聖泉短期大学学会

## 学会発表

「対人的な好悪感情と対人行動の認知との関係について」『大会論文集』 p. 30, 日本感情心理学会第6回大会, 北星学園大学, 1998年8月24日

「関係初期の好感度に及ぼす行動特性・社会的スキルの効果」『大会論文集』 pp. 220-221, 日本社会心理学会第39回大会, 筑波大学, 1998年11月7日

「コンピュータ不安に影響する諸要因について」『大会論文集』 p. 59, 関西心理学会第110回大会, 大阪教育大学, 1998年12月6日 (ただし連名発表)

中川 香 助手

論文

「手術患者と看護学生の相互理解の過程——グラウンデッド・セオリーによる分析」(前篇)『教務と臨床指導者』11巻2号, pp. 57-65, 日総研出版, 1998年7月

「手術患者と看護学生の相互理解の過程——グラウンデッド・セオリーによる分析」(後篇)『教務と臨床指導者』11巻3号, pp. 36-49, 日総研出版, 1998年10月